

平成 28 年度文化交流センター運営協議会定例会
会 議 結 果

日時 平成 29 年 3 月 23 日 (木)

14:00～14:50

場所 文化交流センター2階講習室

出席委員 今田会長、山内（一）副会長、脇田委員、深瀬委員、佐久間委員
高橋委員、山内（秀）委員、岡田委員、橋場委員、石川委員 計 10 名
事務局 教育部 瀬能次長
生涯学習課 鍛冶課長、飯島主査、下館囑託員
指定管理者 文化交流センター 三石館長代行、佐藤副館長、三塚

-
- 1 開 会 (進行) 飯島主査
 - 2 教育部次長挨拶 瀬能次長
 - 3 委員紹介 今田委員、脇田委員、深瀬委員、佐久間委員、高橋委員、
山内(一)委員、山内(秀)委員、岡田委員、橋場委員、石川委員
 - 4 事務局担当職員・指定管理者自己紹介 鍛冶課長、下館囑託員
三石館長代行、佐藤副館長、三塚
 - 5 会長及び副会長の選出 (進行) 飯島主査
 - 6 議 事 (議事進行) 今田会長
 - (1) 平成 28 年度 文化交流センター事業報告及び利用状況報告
～資料に基づき三石館長代行から報告
 - (2) 平成 29 年度 文化交流センター事業計画
～資料に基づき三石館長代行から説明
 - (3) その他
 - 7 閉 会 (進行) 飯島主査
-

【会長及び副会長の選出】

主査： 文化交流センター規則第 12 条に基づき、会長及び副会長の選出を行います。
どのように取り計らいましょうか。

委員： 事務局一任。

主査： 事務局一任の声がありましたので、こちらに一任させていただいてよろしいでしょうか。

委員： 異議なし

主査： それでは、事務局から提案させていただきます。事務局、お願いします。

事務局： 事務局としまして、会長には今田和史委員、副会長には山内一徳委員にお引き受け
ただきたいと思えます。

主査： 事務局から、会長に今田和史委員、副会長に山内一徳委員と提案がありましたが、いかがでしょうか。

委員： 異議なし

主査： 異議なしの声がありましたので、会長は今田和史委員、副会長は山内一徳委員に決定させていただきます。拍手でご承認願います。

今田会長、山内副会長、よろしく願いいたします。今田会長は会長席にお移りください。

会長、副会長からそれぞれ一言ご挨拶をお願いいたします。

会長・副会長： （それぞれの挨拶は省略）

主査： 配布資料の確認をさせていただきます。（確認内容は省略）

議長は文化交流センター規則第13条5項により、会長が務めることになっておりますので、これ以降の進行は今田会長をお願いいたします。

【 議 事 】

議長： 初めに（1）平成28年度文化交流センター事業報告及び利用状況報告について、事務局からご説明をお願いします。

館長代行：平成28年度文化交流センター事業報告及び利用状況を資料に基づき説明

（内容概略） 1 ページの学習活動の推進について、とまこまい市民カレッジを開催しほぼ前年度並みの状況となっております。中でも「ワークライフバランス」や「リンパから見た肩こり改善法」など、ニーズに合わせた講座を取り入れて実施をしております。前期では「生涯学習ボランティア養成講座」ということで自分達が一方的に学ぶだけでなく、学びを作り出せるような企画も取り入れて実施しました。

2 ページの「子ども体験教室」についても前年度並みの実施となっておりますが、特に後期の中では作品を「アイビークリスマス展」や「ひなまつり展」で展示したり、ひなまつり展の際に「アイビーひなまつり茶会」として、学んだお茶の受講生がお茶を振舞うという場面もありまして、非常に人気の講座になっております。

次に臨時講座については、昨年同様「孔版（ガリ版）年賀状講習会」や「子どもヒップホップジャズダンス講座」を実施しました。

次に自主事業の推進については、例年通りの講座に加えて「フードドライブ」「サマーコンサート」「おもちゃライブラリーのチャリティーダンスパーティー」「クリスマスダンスパーティー」など講座事業以外にも取り組むことができました。講座の部分については、「退職準備セミナー」など中高年層を対象にしたものや、「おもちゃライブラリーのチャリティーダンスパーティー」は市内の女性団体との協力で実施できました。なお、「フードドライブ」については、別紙4

を併せてご覧いただきたいのですが、ワーカーズコープでは「フードバンク」という取り組みをしており、フードバンクとは日々の食料に困っている方々に食料を届けるものですが、その食料寄贈の窓口としてアイビー・プラザも担っているところです。

続いて独自事業ですが、昨年同様「アイビー文化祭」「アイビークリスマス展」「アイビーひなまつり展」を実施し、ひなまつり展は新しい参加の方が増えてきており、好評を得ることができました。

講座の受講状況については、8ページから9ページに一覧がありますので、詳しい内容はこちらでご覧いただきたいと思います。

続いて高齢者学習の推進については、今年度も長生大学を開校しました。学生募集や運営に努め、学生が主体となり、学生による自主的な活動の推進を図ってきました。また、毎年開催する合同大学祭では白老にあるアイヌ民族博物館の八幡巴絵さんをお迎えして記念講演を実施したほか、高齢者主張発表会では6名の発表がありました。実施状況は別紙でご覧ください。

芸術・文化事業の推進については、とまこまい市民カレッジ、独自事業、自主事業の様々な事業をとおして皆様に芸術・文化に触れていただける機会を設けてきました。

市民自主学习活動の推進については、視聴覚教材の貸出、サークル連盟との連携、アイビーサークルまつりということで、サークルまつりは本年度が40回の節目となり、ワーカーズコープとしても様々な場面で協力し、記念行事を成功することができました。また、例年どおり喫茶コーナーを設けて訪れた皆様に飲み物を飲んでいただけるようにいたしました。まだまだ共催のあり方には課題の残るところですが、この先も周年事業が訪れますので、連盟の方々、職員で共通認識を持って当たっていきたいと思います。サークルまつりプログラムは別紙10に付けてありますのでご覧ください。

施設の適正な管理運営については、アイビープラザが公の施設であるということ念頭に、多世代に開かれた施設であり、多様な学びの場の提供の拠点など施設の役割を良く理解し、学びを通じた人づくり・まちづくりに努めてきました。利用者の方や地域の皆さんと良く話をさせていただくとともにアンケート調査の結果を踏まえ、市民のニーズに対応したサービスの向上、また水道光熱費など経費の縮減の取り組みに努めてきました。

アンケート調査については、昨年同様、高い評価をいただくことができました。結果については別紙のとおりとなっておりますのでご覧ください。

駐車場については、教育福祉センターと協議を重ねて相互に利用することを確認したところです。また、引き続き公共交通機関の利用を呼びかけ、生涯学習課とも協議しながら限りある施設の活用を図りたいと考えています。

続いて利用状況について説明します。6ページから7ページに記載してあります。使用回数、稼働率ともに前年度よりやや下回っているが、プレイルーム、交流ひろばの利用も定着してきている。また、学習室、多目的ホールについては利用頻度が上がっている。これは文化会館の規模で出来なくなった団体や新しく立ち上がった団体の小規模な団体に利用され始めていることが、多目的ホールの利

用増加に表れています。7ページの使用者別使用回数比較ですが、サークル、主催ともに前年度を割っていますが、一般利用が若干増えています。延べ人数としては全体的に減っていて、利用人数の増加は今後の課題です。減少の要因としては一団体当たりの人数が高齢化などで減ってきていることがあげられます。用途の多様化もあり、一団体当たりの人数を増加させることは難しいですが、空施設をいくらかでも利用を促せるような企画を考えていきます。他の施設との意見交換の場を活用して施設のPRに努めていきます。

議長：平成28年度年度事業報告及び利用状況報告がありましたが、これについてご指摘・ご意見等ありましたらお受けしたいと思います。ございませんか。

私からいいですか。先ほど、フードバンクという目新しい話がありましたが、アイビーが果たす役割をもう少し詳しく、実績があれば教えていただきたいと思います。皆さんも初めてのものと思いますので説明していただいて、皆さんからも意見をいただければと思います。

館長代行：資料の12・13ページをご覧ください。こちらは「フードバンクとまこまい」ということで、ワーカーズコープと社会福祉協議会で行っているリーフレットの表と裏になっています。右側に「フードバンクって何？どうして必要なの？」のところにも書いてありますように、フードバンクとは英語で食料銀行を意味する社会福祉活動です。苫小牧にも生活困窮者と呼ばれて、日々の生活に困っている方が多くおります。特に食料の部分ではその日食べる分がない、明日食べる分がないという方が多くおります。そういう方々に保存の効く食品とかお菓子などを提供するのが、フードバンクという事業です。このフードバンクで提供するための食料を受付けるのがアイビープラザで行うフードドライブという事業です。バンクへドライブ、届けるという役割を担っております。

実際に28年度はこちらで単独で何かを催したということはありませんが、新聞報道などでこの存在を知った市民の方から食料の提供を受けております。最初は週2～3度でしたが、現在は週1回、もしくは2週間に1回の頻度で、保存の効く乾麺とか缶詰などが届けられております。受付ける食品は賞味期限まで2ヶ月以上あるものをお預かりして、その間に廃棄することのないよう期限のあるものをお預かりしております。

こちらで集めた食品を事務局に集約しまして、苫小牧市や社会福祉協議会の生活困窮者の担当からの求めに応じて、随時お渡ししているという状況です。現在の在庫は出払う食料がかなり多くて、常にほぼない状態です。

議長：他にございませんでしょうか。委員どうぞ

委員：部屋の使われている稼働の状況は分かりますが、部屋の予約申し込みの際に塞がっているということで、お断りするということは多々ありますでしょうか。

館長代行：お尋ねは利用の希望が重なるかということですね。これは重なることは多くなってきました。というのも利用料金のこともありまして、比較的低価の部屋の方が人気が高くな

っております、先に狭い部屋から埋まっていき、次に広い部屋というふうにご案内することが多くなってきます。

議長： 委員どうぞ

委員： 学習室2は価格面でいいのですが、唯一ある和室が重なってお断りすることは多いですか。

館長代行：和室については昨年度までだんだん利用が減ってきておりましたが、今年度については学習室2の稼働が上向いてきたこともあり、代わりに和室を利用する方が増えております。実際に少人数の会議であれば、多少正座が苦になる方もいらっしゃるかもしれませんが、お使いいただく機会が増えてその結果和室をお断りしていることが多くなっております。

議長： 委員どうぞ

委員： 会議等で順々に価格の安いところから埋まるのは分かりますが、例えば和の伝統文化でどうしても畳の部屋を利用したい茶道、邦楽関係などもありますから、そうなった場合に文化会館で塞がっていた、ここへ来ても塞がっていたということがあるものですから、あまり使われていない部屋に簡単な畳を使う時だけユニットで敷いて和室の使い方が出来ますよという方法もあるのではないかという意見です。

議長： 和室の利用についてどうでしょうか。琴、お茶、生け花などあり、どうしてもということではないですが、やはり和室で行うべき行事がありますが、それとの兼ね合いでアイビーで何か工夫されていることはありますかということです。

館長代行：現状では特に工夫しているということはないですが、他の部屋に移動できる畳もしくはゴザのようなものでよろしいのか。そのようなものを設置して利用していただけるかどうかというのはあるかと、費用的な部分では無理のないことなので取り入れられると思います。あとはどこで負担するかということが課題になりますが、それをクリアできれば直ぐに対応できることだと思います。

議長： 和室の場合、困難な状況はありますか。

委員： ここのようにきちんとした和室があるところはありますが、どこの施設も和室が減っています。

これからの子ども達に和の作法や日本文化を伝えるためには、どうしても畳や障子、襖が必要で、そのときに設備がないと。アイビーは畳の部屋としてはありますが、水屋がないので、そういう意味では大変苦勞されているのではと思います。今後、これからの子ども達の10年後、20年後を考えると、そういうことを考えていかなければならないと思います。

議長： 他にありますか。委員どうぞ

委員： 設備の件ですが、各部屋はW i F iを使えるのでしょうか。例えば、会議をする時に利用者がパソコンを持ってきて部屋で接続するということは出来るのでしょうか。

事務局： W i F iにつきましては、今年度、情報推進課で整備する方向で進めているということ聞いております。

議長： 今年度とは29年度ですか。

事務局： 29年度です。

委員： ビジネス利用とかの学習利用で、今は皆さんパソコンは持って来ますから、これからは利用率を上げるためにもそういう設備があると、より利用率が上がると思います。

議長： 他にございますか。委員どうぞ

委員： 楽屋の単独の利用というのはダメなのでしょうか。音を出しても良い部屋が埋まっている時など、どこも借りられなくて、ホールは使っていないくて楽屋が空いている時に2～3人のアンサンブル程度でしたら、十分楽屋で対応できるのですがそれは出来ないのですか。

議長： 楽屋の使用についてですが、事務局どうですか。

館長代行： 楽屋の構造が多目的ホールの区画の1室として設計されておりまして、その一部楽屋だけをお使いいただくということは、今のところはお断りしているところです。楽屋と多目的ホールが隔てられていないという状況であることと、多目的ホールを使う方がいれば、そちらが優先になるだろうということで楽屋だけの貸出は行っておりません。学習室など扉の薄いところでは廊下に音が漏れてしまいますので、そういった際に音を出せる部屋をお使いいただくために、楽屋の単独使用がどのような基準で可能かを検討していかなければ、そのまま全てが良いということにはならないかと思えます。

議長： 楽屋の単独の料金体系はないのですか。

館長代行： 楽屋単独の料金体系はあります。

委員： 確か安いですね。

議長： それはホールと一緒になくても良いということで料金設定しているのでしょうか。いずれにしても管理者の考え方だと思いますが、ホールが使われていない中で楽屋を使えて、料金が決まっているのであれば可能なことではないかなと思います。もちろんホール

を使っているのであれば、これは一体的なものなのでダメだという議論にはなる。

館長代行：料金体系には楽屋の利用料金と暖房料金がありますが、多目的ホールの中のの一部という扱いにしており、4階にも工芸室に暗室がありますが、部屋の中の部屋というのは外側の部屋も併せてお借りいただくというのが基本的な考え方です。

議長：確かに予約していても、途中でホールの予約が入ればキャンセルしてもらわないという問題はあるかもしれません。検討していただければと思います。

その他ありませんか。ないようですので、平成28年度事業報告及び利用状況報告につきましてはご承認いただけたものとしてよろしいでしょうか。

委員：異議なし

議長：次に議事の(2)平成29年度文化交流センター事業計画について、事務局からご説明をお願いします。

館長代行：平成29年度文化交流センター事業計画を資料に基づき説明

(内容概略) 32ページの学習活動の推進について、市民カレッジ、子ども体験教室、臨時講座は今年度並みの内容で予定しております。市民カレッジ前期講座は生涯学習だよりのA4版を併せてご覧ください。ものづくり、健康については例年行っている事業ですが、④道民カレッジ大学インターネット講座で北海道の生涯学習で進めている道民カレッジという事業と連携している講座で、インターネット講座という名前がついておりますが、今回は収録したDVDを借りて放映しながら講座を受けていきます。本来ですと駒澤大学との連携講座を行ってききましたが、今回この連携講座を取り組むことにより、30年度以降も大学との連携講座ができるのではと考えております。なお、6番、7番の講座教材費が変更になっております。

自主事業については、今年度同様「フードドライブ」の取り組みを続けていきます。

33ページには高齢者学習の推進ということで、長生大学を開校していきます。現在、新入生の募集を行っているところですが、昨年より少なめで苦戦している状況でありますので、周りの対象になる方に長生大学への入学を勧めていただければと思います。今年度は豊川コミセンの改修工事に伴い、北長生大学をのぞみコミセンで実施しておりましたが、工事が終了しましたので、29年度は豊川コミセンで実施する予定です。

34ページの芸術、文化事業の推進については、29年度も各種講座や自主事業など、市民や地域の皆さまと協同を通して芸術や文化に触れていただくと共に、人と人とのつながりから新たな芸術・文化が生まれるよう支援していきたいと考えています。

市民自主学習活動の推進については、サークル連盟と連携して「サークルまつり」や文化祭事業において活発に行っていきたいと思っております。また、先ほど会長

からもありましたが、サークル連盟加盟数の減少に対する対策も連携しながら当たっていきたいと考えています。連盟に加入されていないサークルと加入サークルとの交流により連盟加入を促していくことも考えています。

35ページに長生大学の学習予定表を載せていますのでご覧いただきたいと思います。

以上、平成29年度の事業計画を説明しました。

議長：平成29年度文化交流センター事業計画に対しまして、ご質問、ご意見、また新たな提案などありましたらをお受けしたいと思います。委員、いかがでしょうか。

委員：長生大学は随分いろいろなことをされているなと思いました。自分もこの中に入れるのでしょうか、学ぶのも大変かなと思い、尊敬してしまいます。

議長：他にいかがでしょうか。

サークル連盟は元々公民館の時代から講座を設定していただいて、その中から今のサークルが生まれてきたということで、我われマンドリンも相当昔ですが、「ギター・マンドリン講座」にその時加入した方が今も参加しているという状況があります。高齢になられて、今後どうしたら良いかという話をしていますが、なかなか打開策が見えないということで、アイビーの事務局の力を借りて増やしていこうと。昨年の会議でも連盟に入るのが面倒というサークルもいらっしゃると聞いているので、去年40周年の「サークルまつり」をやって、加入していないサークルの方も発表とかステージを提供したので、たくさんではなかったが少しずつ理解されているのかなと思っています。これが連盟として苦慮している状況です。委員、いかがでしょうか。

委員：長生大学は1年間にどれくらい受講とかあるのでしょうか。何月に何回とか。例えば、4年で卒業として何日位でしょうか。

館長代行：33ページをご覧ください。上4行目から長生大学について書いてありますが、定員は390人となっていますが、実際には360人程度が在籍しております。

昨日、大学の卒業式がありまして、新入生が入ってほぼ同じくらいの人数になります。

日程については、だいたい月に2回程度、それぞれ中央・東・北・錦岡・沼ノ端と5大学ありまして、それぞれ曜日が固定になっています。一部ずれることはありますが、基本は同じ曜日の午前9時半から午前11時半まで、コミセンやアイビーなどで活動をしています。実際に講義を聴く場面であったり、小学生と交流したりですとか、共通行事としてバスで校外研修、市内の施設を見学したり、市外にも視察に行くなども行っております。一大学あたりはほぼ定員の8割位で、4年制で4年間で卒業し学士の称号、これは本科でして卒業された方が研修科に入学する事ができます。これも4年制で2年で修士、4年で博士の称号を授与されます。本科は学ぶ事が中心で、研修科は自発的に自主グループ研修が中心で市内の施設を調べたり、現地を視察して12月頃に発表を行うという場面もあります。難しく捉えがちですが、皆さん仲間づくりを目的に入られる方が多いので、是非、ご入学いただければと思います。

委員： 年齢的にはどれくらいの方が入っておられますか。

館長代行： 60歳以上となっておりますが、働いている方が多いので、60歳後半からが多いです。今年度は最高齢91歳の方でした。

議長： 委員どうぞ。

委員： 「子ども体験教室」がございしますが、臨時講座も含めて子ども対象の講座については子どもだけですか。大人が付き添って一緒にするとかというのはありますか。

館長代行： 当初は学校が土曜日休みになるということから始まっており、子どもだけの参加ということになっております。最初は西小学校だけだったものが全市的に広がったものです。内容は日本の伝統文化や芸術について学ぶもので、基本的には子どもだけにしておりますが、中には保護者の方もどうぞという講座もあります。

議長： 委員どうぞ。

委員： 参加される方が少なくなったという話があったものですから、60歳も後半になると億劫だという方が多くて、なかなか参加されない。その突破口として、例えば孫とお祖父ちゃん・お祖母ちゃん一緒に行こうとなると行ってみようかなとなるのかなと聞いておりました。このあたりを親子で参加プラス、孫とお祖父ちゃん・お祖母ちゃんが参加というようなプログラムで参加率を高めるための方策になるのかなと聞いておりました。

また、アイビーの建物の中で来るのを待っているのではなく、もっと積極的に外へ出てまちなかが空洞化しているという話もありますので、天候の良い夏場などは外での活動というか、PRなどできないのかと思います。年寄りを何とか外に誘き出すような作戦を考えていただければ、稼働率につながるのかなと思います。

議長： その他、いかがでしょうか。新年度の事業計画について、ご意見、ご質問はございますか。

委員： なし。

議長： それでは、平成29年度事業計画についてご承認いただけたものとします。

これで議事の(1)(2)終わりましたが、その他で何かあればご提案いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局から何かございませんか。

事務局： 事務局からはございません。

議長： 総括ということで、この際何かお話ししたいということがあればいつていただきたいと思

います。なければ終りたいと思いますが。どうぞ。

館長代行：新年度から新体制で臨みますので、よろしく申し上げます。

議長： 委員どうぞ。

委員： 設備についてよろしいでしょうか。ホールの録音で、他ではCDにダイレクトに録音ができますが、ここはMDしかないといわれて、ソロのコンクールなど全国レベルのコンクールの審査というのが録音したものを outs なくてはならないのですが、MDだとNGで札幌とかはCDにダイレクトにその会場で録音できるのですが、そういうものがあると有り難いということ。

また、ホールの空調ですが、「ゴー」という音がすごいです。録音すると全部入ってしまいます。冬の寒い時でも空調機を停めてもらって録音しましたが、寒くてちょっと音程下がったりとかがあります。空調の音と録音について、何とか改善いただけないかと思います。

議長： 教育委員会どうでしょうか。確かにコンクールは今はその音源を使って、子ども達も含めて録音設備を持って。文化会館にもありますが、それぞれの施設でここはやり易い施設ではないかと思っておりましたので、コンクールなどにどうしても必要なものは子ども達の内容にも係わるので、何かご意見があれば伺いたいと思います。

次長： 費用の面もありますが、設備にCDを取り付けできるのかどうかというのがありますので、新年度に検討させてください。

議長： その他いかがでしょうか。それではこれで終りたいと思います。1時間にわたりご審議いただきありがとうございました。新年度もよろしくお願ひしたいと思ひます。

主査： 今田会長、委員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

以上をもちまして、平成28年度苫小牧市文化交流センター運営協議会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。